

運動會と遠足

東京 京橋區月島幼稚園

蒔田ソヨ

運動會について

運動會は遠足と共に、園児の生活の中で一番に楽しみ待たれるものでありませう。

數へ切れない數を毎日のやうに、もう幾つ寝るに運動會、もう幾つ聞いたら、やがて一つ宛少くなつてやつたら、自分の知る數になるころ、輝かしい希望、待ち遠しい悦びは、遊びの中にも自然に現れて、期せずして豫行演習が行はれるさいふこども度々であります。

勿論體位向上に團體的訓練とは、運動會舉行の目的の最たるものではありませんが、澄み切つた秋空に翻る日章旗の下、仕度も凜々しい子供たちの軽い足ざり、弾む心こそは、何にも替へ難い

得難く、尊い満ち足りた心の姿ではないでせうか。

本園では毎年十月中旬ごろ、園長先生の居られる佃島小學校と合同で舉行致します。二千坪と言はれる、大運動場を持つ月島四號地をすぐ近くに控へて居りますので都心とは思へない清澄な空氣の中で、存分の運動會が出来るのであります。

芝生の上に藁を敷いて、普段見馴れないお兄さんや、お姉さんたちの、體操や、競技に拍手を送る子供たちの見やう見まねの禮儀正しい應援も、私たちにしますと、思ひもうけぬ收穫のやうな氣が致します。

運動種目は、遊戯、團體競技、徒競走の三種目で、遊戯は野外であるため

一一一

に、樂隊を使用した事もありませんが、最近では擴声器によつて、ピアノ或はレコードを、殊にレコードを使用することが非常に多くなりました。

之れは、レコードによる幼児向の易しい、而も優れたものが普及されたと言ふことがその大きな原因かと思ひます。

今まで主として鑑賞用として用ひられた、レコードを直接、指導に用ひる機會は今後運動會に限らず、益々多くなることと思ひます。従つて、その撰擇指導については慎重研究の必要があります。今までより以上にピアノによる指導を、叮嚀に、正確になすこと、又あまり複雑な曲、歌詞等を撰ばないやうに言ふことは特に心がける必要があると思ひます。

次に團體競技であります。なるべくリズムが主になつて、團體を動かしたるものを選びます。

自己中心である幼児には、全體の中

の一人だみの考へは中々用意には納得出来ません、まして競技に熱中して來るに従つて、一對一、の氣持は益々強くなり、同時に弱い子供たちは手の下しやうもなく、茫然としてゐるこゝがありがちです。始終全體が一如きなつて行動の出来るもの、例へば、縫つて行く、デンデン蟲、なごを競技的に扱つた時のやうに、手を撃ぎ、肩を組み合せせるこゝによつて、そのグループを意識し、或はスリルには乏しいかも知れませんが、リズムによつて全體を考へる餘裕を持つこゝが出来るからであります。

従つて全體を共にするこゝいふ快びをも感じさせるこゝが出来ると思ひます。

徒競走は最も簡單に、然も幼児の滿身の力を賭して、競走の出來、男の子にも女の子にも、一番よろこばれる競技であります。距離は大體三〇米前後が適當であります。

寶拾ひや、旗ごり競走のやうな變形した徒競走も結構ですが、單身自分の力一つばいを出し切れるこの競技は大人のおのテープを切る快感、ほんこの自分の力を量り知つた喜びを、子供なればこそ、みんながみんな感じられ喜ばれるのではないでせうか。

以上のやうな心構へで、種目の撰擇は致しますが、何時の時代にもそうであるやうに、女の子は優しいものによるこゝび、男の子供たちは何として運動量豊富な團體競技、徒競走なごをよろこびますので、最近遊戯は女兒に團體競技は男兒に、分けて實行してみましたが、何れも大よろこびでした。果して幼児時代から別々の取り扱ひをなすこゝは如何かと思ひましたが、之も一つの試案として實行してみました。

遠足について

常に都會の騒音の中に終日を暮らし、わづかに粘土遊びや、狭い砂場の遊びに土の感觸を満そうにする子供た

ちを出来るだけ、機會ある毎に郊外に連れ出し自然に親ませるこゝは、都市幼稚園の特設すべき一つの保育事項だと思ひます。

神社に參拜し莊嚴な神域に敬虔の念を養ひ、神前に頷いて愛國の誓をなす、又重要な保育の一時であります。

遠足はこの意味から少なくとも毎月一回位の豫定で案を立てるのでありますが、實際には一ヶ年五回自至六回位でそれ以上は或は天候に或は突發事項に中々實行し難いやうであります。殊に經費の點で思ふやうに連れ出すこゝの出来ないのは誠に遺憾なこゝであります。

一、附添の行かない遠足

六月の動物園行きはやつミ團體生活に馴れた子供たちの初めて一人で行し遠足に、非常に喜びを感じたらしく殊に家庭からもよく出かけるお馴染の場所であるだけに個性的指導をすることが出来ました。

以下昨年度實行の大體を列記してみます。

月 日	場 所	乗 物	本園より目的地所要時間	附添の有無	費用
五月十八日	豊島園	武藏野電車	一時間三十分	有	附添實費園児區費
六月十五日	動物園	市電	一時間徒歩十八分	なし	本園後援會より
九月三十日	日吉臺芋掘り	東横電車	一時間徒歩二十分	有	附添實費園児區費 不足後援會より
十月二十七日	靖國神社	市電	五十五分	なし	本園後援會より
十一月二十七日	牛込陸軍病院	市電	一時間	なし	同
三月十二日	明治神宮	青バス	三十分徒歩十五分	なし	同

一四

てゐること

一、交通機關の利用が便利で簡單であること。

一、子供たちが團體生活にやゝ馴れてからなすこと。

この三つの條件が

十月二十七日靖國神社の臨時大祭も終り、神鎮りました社殿に、子供たちの心からなる祈り、殊に良技ちゃんのお父さんこゝに祀れてるんだね、ご身近な例を知る子供等の類づきは、英靈にも強く届いたことでありませう。

十一月の陸軍病院慰問は、子供たちの七五三の歡びを分つため、園児たちの作つた袋に千歳飴を入れて、來年の「幼児ごよみ」(女高師にて作成のもの)と共に持参しました。白衣の勇士の方々に共に歌ひ、又お遊戯なごお目にかけて歸りました。

三月の明治神宮參拜は、毎年保育終了の子供たちの感謝と喜びの報告をなすべくお詣りを致します。

附添の行かない、このやうな遠足は子供たちも案外に元氣に、殊に目的地にあつての行動も自治的でお辨當や水筒の仕末なきもよく所理し、すべてに和かに且つ生活的に指導することが出來、眞の園外保育の意義をこゝにこそ感じられるやうな氣が致します。但し之には

一、目的地が特に危険のない場所であり且又指導者が目的地を熟知し

必要であります。従つて所要時間も一時間以上を要する所は考へる可きでありませう。

費用もなる可く低廉に本園では一人拾錢を限度として本園後援會から之を支出致して居ります。

以上の諸點を考慮致します時、市電利用の出來る範圍内で理想的な地を求めることが先づ便利であります。

一市電一臺貸切、往復八圓二十錢で園児一三〇人位までは樂に輸送出來ます。市電運轉系統の變更の許される範圍として、私の園からは靖國神社、後

樂園、明治神宮、日比谷公園、乃木神社、麻布三聯隊、一聯隊、小石川植物園、上野動物園、芝恩賜公園等主な候補地であります。

此の他、地下鐵利用も今後考へられる可き方法であります。

二、附添と共に行く遠足

春秋二回お母様方と共に行く遠足は子供たちにとっては非常に大がかりな遠出であるだけに、その喜びも一層大きいものがあります。

園としてもこの喜びをより有意義なものとなす可く、行動を共にするお母様方の協力を得ることが先づ大切であります。遠足舉行の月の「幼稚園だより」には細々と遠足の目的、意義など時には目的地の史實などを記しておきます。子供たちと共に周囲の風物を見直して戴きたいと願ふのであります。

然し常にお家にあつて子供の世話や家事に追れてゐるお母様方の、たま／＼こうして子供たちと共に廣々とし

た所に出て来る楽しみ、お母さま方の慰安も又重大な目的の一つとして認めざるを得ません。

秋の芋掘り梨摘ぎ等、都會に住むお母様たちの殆、初めてと言つても好い經驗は驚きにも似たよろこびであります。費用は附添は實費、園児は區費より拾四錢、不足は後援會より一名拾錢を限度として補助されますのでその費用内で實行し得る場所を方法を選びます。

三、お散歩

お散歩も又遠足の一形式で行はれる場合が度々あります、時としては二軒以上もある深川公園、深川清澄公園にお辨當を持參で落葉を拾ひに行つたり、或る時は五號埋立地に飛行機を見に行く等、かなりの遠出を致します。

然しその範圍はなる可く二軒以内、主に月島四號地に出かけます。

春は柔いクローバに埋まつて花輪や首飾りを作り、草の土俵に角力を取り、

秋は子供たち苦心の捕蟲網や空箱利用の蟲籠を持つて、トンボを捕り、バッタを追つて一日を過し、お手製の凧を上げに行くこともあります。時には小兎がお供をし、小石や貝殻がお土産の時もあります。

あの草原の何處に窪地があり、彼處には草に覆れた溝がある、向ふの砂地には貝殻の破片が澤山あるなど、地形に對する深い認識が先生も、子供も非常に解放的にしゆつくり遊ばせてくれます。

何時も不變な場所ではありませんが、自然の推移が子供を飽きさせず迎えてくれます。

ガソリン節約、電力不足の折から、わづか一五〇米に離れない所にあるこの大きな自然は、私の園のためには將に國策線に沿つた好適の園外保育地であり、體力鍛練の場所であります。一週一回の豫定でお辨當を保育内容も持參で、長蛇の列は月島四號地を繋ぐ

朝潮橋を渡ります。

以上簡単な本園運動會を遠足の概略でありませんが、之によつて強い體で

私共の運動會を遠足

岩手 女師附屬幼稚園

高橋 タツ

○運動會

去る十月七日銃後々援強化週間第五

日目は「傷痍軍人の日」でございましたので、此の日に白衣の勇士をお招き致して例年の通り秋季大運動會を開く豫定で御座りましたが、雨天順延で「忠靈顯彰の日」を交換致しまして八日に舉行致しました。本校、小學校、幼稚園と合同で致しましたので大々的な運動會でございました。場所は女子師範學校々庭で午前八時開始、午後四時終了でございました。當日のプログラムは左之通りでございます。

一同集合 校旗入場 國旗奉揚

何ものも受け入れられる太く逞しい心を作る素地ともなれば祈つて居ります。

開會の辭

體育運動歌

演技、種目は全部で八十二、其のうち幼稚園の部は次の通り

午前之部

一 番 體操 國民保健體操第一

(全校合同)

十 七番 遊戲 カケッコ、お月様

二十六番 競技 綱釣り

三十六番 團體競技 蝶追ひ

午後之部

七十二番 遊戲 兵隊さん、太平洋行進

曲

八十番 競技 全校繼走(職員 生徒

兒童 園児)

八十一番 遊戲 日の丸の旗、兵隊さん

(全校合同)

八十二番 體操 國民保健體操第二(全

校合同)

成績發表 運動會の歌 閉會之辭

萬歳三唱 國旗奉降 校旗退場

一同解散

幼稚園單獨の立場で眺めますと、このプログラムは無理を考へられる點もないでもございませんが、これが又一而岩手縣女子師範學校の特色とも云へる譯でございます。殊に昭和十四年度の運動會方針は次の如き目的のものに計劃され編成された次第で御座います。

一、本年度實施に當りて特に時局に對應し國民體位向上を學校體育の重要性の立場より左の諸點に留意す。

1、團體的訓練並諸動作の重視。

2、個人的競技より團體的競技に主力を注ぐ。

3、國防競技に關連したる種目を本